

2年目のカワラノギクも種子が結実し、ロゼットは越冬準備です

10月初旬に開花、下旬に満開を迎え多くの見学者を楽しませてくれたカワラノギクもすっかり様相が変わり、次の世代に命を繋ぐ準備に入りました。今回は初冬の『カワラノギク』と、年間を通じて圃場内の除草に取り組んだ仲間を紹介します。

【12/13(木)7:46 初冬の朝は霜が降りてロゼットは霜枯れでシナダれています。



白い種子、琥珀色の種子混在する
(報告#18,19参照下さ)



霜で葉がシナダれて我慢の季節です



第1圃場のカワラノギク種子
(河原の草木も茶色一色です)



圃場の看板も数度の風雨にさらされ落下
(河原を訪れる方の心遣いが見られます)



花の終わった圃場で雑草の抜き取りするMさん
(圃場の草取りは根気のいる作業です)



圃場の整備と並行して河原のシナダレスズメガヤ
除去作戦を開始しました。(毎月第3日曜日開催)